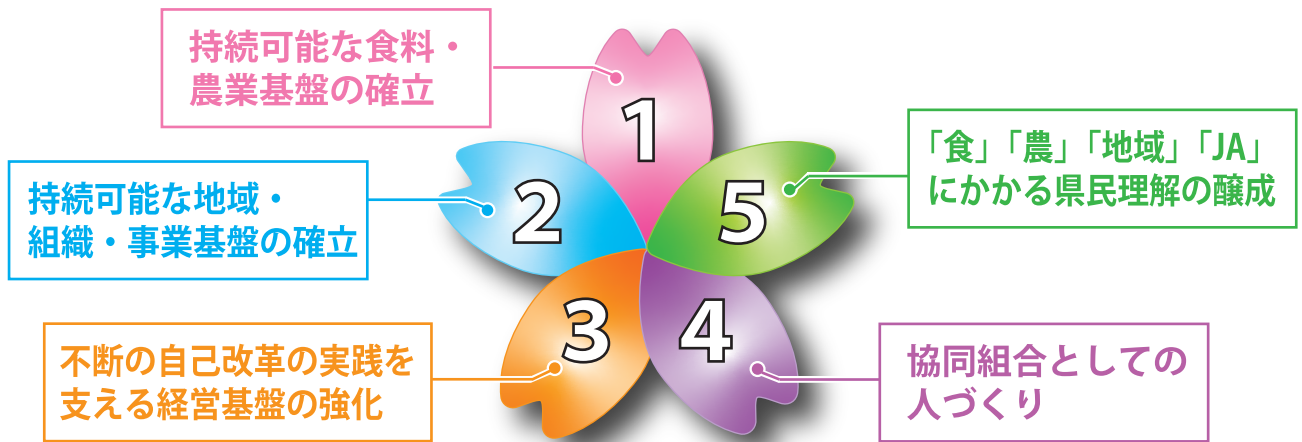


JA 八千代市の自己改革

JA グループでは『持続可能な農業・地域・事業・経営基盤の実現～食と農を基軸として地域に根ざした協同組合であり続けるために～』を共通テーマに掲げ、下記の5つの項目を柱として全力で取り組んでいます。



JA 八千代市でも、平成 26 年より組合員との徹底した対話に基づいて、自己改革の実践に取り組んでおります。今回は、令和 4 年度に行った取り組み内容の一部をご紹介します。

◆各種イベントの開催や店舗の充実で地域を活性化

ファーマーズマーケット「よったいよ」では、各種イベントを開催して地場農産物のアピールを行ったり、来店者がより魅力的に感じる店舗作りを心掛けています。たくさんの方にご利用頂くことで、地域の活性化と農業者の所得増大に繋がっています。



▲昨年は 3 年ぶりに夏・秋のお祭りを開催！大盛況でした。



◆各種組合員組織の活動をサポート

青年部・女性部・フレッシュミズ・アンシャント倶楽部・ニンジン部会・ネギ部会・八千代市梨業組合・八千代市園芸協会など各種生産部会の活動を支援しています。それぞれの部会が活気づき、積極的に活動を行うことで消費者との交流の機会が増え、地元農業への理解促進や地場農産物の PR を行っています。



▲各種農産物の PR 販売や講習会の様子



◆組合員の声を経営に反映、より愛される JA を目指して

1

2

正組合員と准組合員が一体となった JA 運営を実現するため、准組合員を「正組合員とともに農業や地域経済の発展を共に支える組合員」と位置付け、准組合員の声を経営に反映させる為、積極的に対話を行い、一層の事業利用と組合員組織や協同活動への参加を進めています。



▲准組合員セミナーでは収穫体験と JA 役員との意見交換の場を設けました。

◆関係機関との連携や食農教育で地元の農業を守ります

2

3

農業資材等の価格高騰に対し、生産者の声を伝え、協力を仰ぐ為に市役所へ要望書を提出しました。また、八千代市園芸協会は八千代市役所と八千代市立大和田南小学校へ精米真空パックを贈呈し、八千代市産の米の美味しさを伝えると共に消費拡大を呼びかけました。



▲八千代市長（画像中央）へ要望書を提出。



▲小学校へ精米真空パックを贈呈。

◆JA 職員の人材育成。研修会を随時開催

4

「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」を目指し、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組む為の SDGs 研修会や組合員の確定申告をお手伝いする為に毎年研修会を行うなど、随時研修会を開催しています。



▲SDGs 研修会の様子。

◆小学生への出前授業・校外学習、高校生の職場体験等の受け入れ

5

出前授業や校外学習・職場体験に協力することで、未来を担う子供たちに地元の農産物を通して「食と農の大切さ」を知ってもらうお手伝いをしています。



▲出前授業・校外学習の様子。

この他にも様々な取り組みを行っております。今後も JA 八千代市が地域になくてはならない JA であり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な JA 経営基盤の確立・強化とともに、組合員との対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に引き続き全力で取り組んで参ります。